

新型コロナウイルス感染症による富士登山への影響調査報告書骨子（案）

項 目	内 容
調査の趣旨・目的	閉山や登山者数の減少が富士登山に与えた影響を調査し、今後の富士登山に係る政策を検討する際の基礎資料とするため。
これまでの 来訪者管理 についての 議論・方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 来訪者管理戦略で「望ましい富士登山の在り方」として「登山の文化的伝統の継承」、「良好な展望景観の維持」、「安全性・快適性の確保」を設定していること。 ・ 調査の結果、著しい混雑は恒常的に発生しておらず、特定の日時・場所での著しい混雑の発生が判明したこと。 ・ 登山者の人数に係る指標・水準を設け、混雑の平準化に努めていること。 ・ 五合目は、静岡県側では著しい混雑はなく、吉田口では混雑の平準化に向け富士山登山鉄道構想などの議論があること。
コロナ禍での 富士山を巡る 動 向	令和2年は閉山し、令和3年はコロナ対策を実施したうえで開山したが登山者数は過去最低水準となったこと。
コロナによる 影 響	<ul style="list-style-type: none"> (1) 社会的影響 <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光事業者等の売り上げ減少 ・ 来訪者の行動変容 ほか (2) 自然的影響 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地形、地質、植生 ・ 大気、水質等 ほか (3) 来訪者管理戦略の「望ましい富士登山の在り方」実現にむけた指標・水準に与えた影響
コ ロ ナ と 来訪者管理戦略	<ul style="list-style-type: none"> (1) コロナによる影響を踏まえた考察 (2) 来訪者管理戦略の今後の方針